

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1991800259
法人名	株式会社ビジュアルビジョン
事業所名	けあビジョンホーム笛吹
所在地	山梨県笛吹市八代町米倉803-1
自己評価作成日	令和 5年 12月 27日
評価結果市町村受理日	令和 年 月 日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/19/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	山梨県社会福祉協議会
所在地	甲府市北新1-2-12
訪問調査日	令和6年1月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

断らない介護を実践しています。寄り添った介護を行い明るく楽しく生活できるようお手伝いをさせて頂いています。外出などイベントを行い地域の方々とも交流を大事にしています。

住宅街に立地する環境の中で、毎日の散歩が行われ、地域住民との交流が日常的にあります。また、ドライブによる外出も、月に一度の頻度で実施しています。コロナ感染の状況を見て、これからは、利用者の誕生日には行きたいところに行ったり、ボランティアの団体などに外出支援の協力を考えています。食事は業者に対して一週間分の食材を発注して、栄養士の献立に沿って手作りして提供しています。地元の食材も出来るだけ利用するようにしています。事業所では、利用者が様々な場面において選択することができる支援を心がけています。嫌なことには、どうしたらできるようになるかを職員間で考え支援しています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている(参考項目:2,20) (※窓越しの面会など距離をとった交流)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている(参考項目:49)(※感染対策を行い、可能な場所に出かけているか)(※戸外とは事業所の庭に出る等も含みます)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

事業所名

けあビジョンホーム笛吹

自 己	外 部	項 目	事業所名		外部評価	
			ユニット名(1)	ユニット名(2)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員会議、朝礼夕礼において理念を共有している	職員会議、朝礼夕礼において理念を共有している	事業所の理念は、各ユニットの事務所に掲示されています。全ての職員は会社から、会社の方針や理念が印刷された手帳を支給され、朝礼、昼礼時に復唱し共有がなされています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	地域行事など積極的に参加し、地域の方々との交流を深めていくよう努めている。	地域行事など積極的に参加し、地域の方々との交流を深めていくよう努めている。	自治会に入会しています。地域の神社へ初詣に出かけたり、神社で行うイベントに参加しています。毎日、事業所周辺を散歩して、畑仕事に携わる地域の方と挨拶を交わしています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	実行できていない	実行できていない		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	市役所職員地域の方々の意見を聞き積極的に取り入れている。	市役所職員地域の方々の意見を聞き積極的に取り入れている。	2か月に1度実施して、10月、12月は対面で開催しています。事業所の活動報告、事故報告をお伝えしたり、地域の行事等の情報収集をしています。家族は交代で出席していただいています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	定期的に訪問、FAX等での連絡を行っている。	定期的に訪問、FAX等での連絡を行っている。	運営推進会議で話された内容について情報を発信し、必要なアドバイスを頂いています。行政に対しては今後、合同でできる研修等を呼びかけていきたいとのことです。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	会議や研修での内容を伝え身体拘束をしないケアを徹底している	会議や研修での内容を伝え身体拘束をしないケアを徹底している	身体拘束委員会において、スピーチロック等にあてはまる事業について振り返りを行い、委員会より発信しています。玄関は施錠せず、帰宅願望の強い方には一緒に外に出て気分転換をしています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議の議題、研修、委員会を実施し防止に努めている。	職員会議の議題、研修、委員会を実施し防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修や勉強会にて学ぶ機会を設けている。	研修や勉強会にて学ぶ機会を設けている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	相手が理解できるよう説明し疑問点を納得されるまで説明するよう努めている。	相手が理解できるよう説明し疑問点を納得されるまで説明するよう努めている。		

自己評価および外部評価結果

事業所名

けあビジョンホーム笛吹

自己	外部	項目	事業所名		外部評価	
			ユニット名(1)	ユニット名(2)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議を開き意見要望を聞き反映させている。	運営推進会議を開き意見要望を聞き反映させている。	家族からは運営推進会議の場以外で、日頃の面会時に意見や要望を伺っています。また、面会に来られない家族には、電話で意向を伺っています。会社として、家族に対してQRコードを活用してアンケートに応えていただく取り組みを行っています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議、個人面談で意見、提案を聞いている。	職員会議、個人面談で意見、提案を聞いている。	職員には、週に1度面談の場が設けられています。職員は夢を叶える為の目標を持ち、年に一度「夢会議」が開かれ、夢の実現に向けた取り組みについて話されています。職員の要望からタブレットが導入されています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に一回自己実現会議を行い面談等で目標を設定し確認して評価している。	年に一回自己実現会議を行い面談等で目標を設定し確認して評価している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	OJTを行っている	OJTを行っている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ZOOMにて社内の従業員と委員会や、年二回の研修を会社全体で行っている。	ZOOMにて社内の従業員と委員会や、年二回の研修を会社全体で行っている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前の面談にて、お話を聞くよう努めている。	入所前の面談にて、お話を聞くよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前の面談にて、お話を聞くよう努めている。	入所前の面談にて、お話を聞くよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ケアマネージャーを含めた話し合いを行い動いている。	ケアマネージャーを含めた話し合いを行い動いている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	堅苦しすぎず、また、なれなれしすぎない言葉遣い態度で接しての関係性づくりに気を付けている。	堅苦しすぎず、また、なれなれしすぎない言葉遣い態度で接しての関係性づくりに気を付けている。		

自己評価および外部評価結果

事業所名

けあビジョンホーム笛吹

自己	外部	項目	事業所名		外部評価	
			ユニット名(1)	ユニット名(2)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時などご本人と会って頂くだけではなく施設での様子なども伝えるよう対応している。	面会時などご本人と会って頂くだけではなく施設での様子なども伝えるよう対応している。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族だけでなく知人などの面会を受け入れている。	ご家族だけでなく知人などの面会を受け入れている。	利用者の中で、過去に近くの神社を建てた方がおり、神社への思いを強く抱いています。利用者の高齢に伴い、馴染みの人との関係はなくなっているとのことです。利用者の中には、昔から通われていた理容店での散髪を、家族の協力で継続している方もいます。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	それぞれの関係性を把握し助け合い、支え合えるよう努めている。	それぞれの関係性を把握し助け合い、支え合えるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	長期入院などで契約が終了しても定期的に連絡を取り相談に乗る様努めている。	長期入院などで契約が終了しても定期的に連絡を取り相談に乗る様努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアプランに取り入れ、検討している。	ケアプランに取り入れ、検討している。	日頃の会話の中からニーズを拾うようにしており、外食に出かけたり、必要な物品は家族に依頼しています。利用者一人ひとりの表情を職員全体で観察し、思いや意向を共有しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に細かく聞き取り把握するように努めている。	入所時に細かく聞き取り把握するように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護記録を用い細かく記録し職員に周知徹底してしている。	介護記録を用い細かく記録し職員に周知徹底してしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスにて出た内容をもとにケアプランを立てるようにしている。	カンファレンスにて出た内容をもとにケアプランを立てるようにしている。	各ユニットの職員が利用者全員を把握する仕組みになっており、モニタリングはメインの職員を中心に行われます。モニタリングを経てケアマネが、家族の意向や常勤の看護師からの情報を基に介護計画を作成しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々変化なく過ごしていても記録は細かく付け引継ぎ情報共有している。	日々変化なく過ごしていても記録は細かく付け引継ぎ情報共有している。		

自己評価および外部評価結果

事業所名

けあビジョンホーム笛吹

自己	外部	項目	事業所名		外部評価	
			ユニット名(1)	ユニット名(2)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	体調の変化などに気をつけ柔軟に支援やサービスの多機能化に職員同士で話し合い決定するよう取り組んでいる。	体調の変化などに気をつけ柔軟に支援やサービスの多機能化に職員同士で話し合い決定するよう取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	各事業所などとの連絡を密にし支援を行っている。	各事業所などとの連絡を密にし支援を行っている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族による受診が困難な場合は施設医による往診も選択でき、対応している。	家族による受診が困難な場合は施設医による往診も選択でき、対応している。	入居時に、かかりつけ医の他に往診医が選べる事の説明が行われています。家族の中には、往診医へ変更されるケースが多いとのことです。家族による、かかりつけ医の受診の際には、看護師からの医療情報が家族に引き継がれています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師がおり一人一人の体調など管理している。体調の変化などに迅速に対応が出来る。	看護師がおり一人一人の体調など管理している。体調の変化などに迅速に対応が出来る。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	看護師を中心に病院関係者との関係づくりに取り組んでいる。	看護師を中心に病院関係者との関係づくりに取り組んでいる。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	職員は研修などの勉強会を行い、その方、ご家族様の意見を受け入れ取り組んでいる。	職員は研修などの勉強会を行い、その方、ご家族様の意見を受け入れ取り組んでいる。	入居時にアンケートを実施して、重度化時の対応についての説明と同意を得ています。また、実際にその時になってからは再確認をしています。家族が看取りを希望した場合は、医療的なケアの内容について説明し、家族の思いに沿った対応をとっています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルなどを活用し勉強会を行ったり対応手順が分かる場所に設置し、緊急時に備えている。	マニュアルなどを活用し勉強会を行ったり対応手順が分かる場所に設置し、緊急時に備えている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練やハザードマップ等災害時には即座に対応できるよう取り組んでいる。	避難訓練やハザードマップ等災害時には即座に対応できるよう取り組んでいる。	年に二回、日中と夜間想定避難訓練を実施しています。夜間の避難体制は、近隣に住む職員の応援を得ると共に、予め自治会長を通して、地域の方に協力依頼をしています。	運営推進会議に自治会長はじめ、地域の方がメンバーに入っていますので、日頃の避難訓練での協力体制と、実際の合同訓練の実施について、運営推進会議の場で検討されることを期待します。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	排泄時などドアを開けたままにしない。プライバシーを損ねるような声掛けは大きい声でしないなど、研修を通じ対応している。	排泄時などドアを開けたままにしない。プライバシーを損ねるような声掛けは大きい声でしないなど、研修を通じ対応している。	排泄や入浴、着替えの場面は、同性介護を基本にしていますが、利用者の希望に応じた対応がとられています。排泄時は、特に言葉かけに留意して、必要な研修を実施しています。	

自己評価および外部評価結果

事業所名

けあビジョンホーム笛吹

自己	外部	項目	ユニット名		外部評価	
			ユニット名(1)	ユニット名(2)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	食事介助では何から食べたいのか確認している。不穏時など何をしたいのか確認し、ご利用者様に合わせた対応をとる様になっている。	食事介助では何から食べたいのか確認している。不穏時など何をしたいのか確認し、ご利用者様に合わせた対応をとる様になっている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	居室に戻り休みたいという要望があればそのように支援し、1人1人思いの生活が送れるよう支援している。	居室に戻り休みたいという要望があればそのように支援し、1人1人思いの生活が送れるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時には洗顔、整髪、男性は髭剃り等支援している。	起床時には洗顔、整髪、男性は髭剃り等支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	普通食、刻み食、トロミ等一人一人に合った形態の食事を提供し盛り付けにも気を配り、食後は片づけを手伝って頂くなど支援を行っている。	普通食、刻み食、トロミ等一人一人に合った形態の食事を提供し盛り付けにも気を配り、食後は片づけを手伝って頂くなど支援を行っている。	食材を週に一度、食材配食サービス会社に発注して、手作りで提供しています。献立は本社の栄養士が立て、地元の食材を利用しています。利用者からの希望に応じて、食材の発注を変えたりもしています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	地元食材を使用し栄養バランスや水分量の確保に気をつけ、支援を行っている。	地元食材を使用し栄養バランスや水分量の確保に気をつけ、支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事後は口腔ケアを行い歯菌のみの方はきちんと洗浄を行いケアに取り組んでいる。	食事後は口腔ケアを行い歯菌のみの方はきちんと洗浄を行いケアに取り組んでいる。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	起床時、食事の前後など時間を定めてトイレ誘導し、排泄介助を行っている。	起床時、食事の前後など時間を定めてトイレ誘導し、排泄介助を行っている。	排泄の自立に向けて、車椅子の方はトイレで立ち上がれること、歩いてトイレへ移動出来ることを支援しています。夜間は定時排泄、センサーコールによる移動支援が行われています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維豊富な食材を取り入れた食事作りを心掛け、体を動かすことで自然排便が行えるように支援している。	食物繊維豊富な食材を取り入れた食事作りを心掛け、体を動かすことで自然排便が行えるように支援している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	季節による入浴[しょうぶ湯、ゆず湯等]や湯温、拒否がある様なら日にちや時間の変更をし、入浴は楽しいものと思ってくれるよう支援している。	季節による入浴[しょうぶ湯、ゆず湯等]や湯温、拒否がある様なら日にちや時間の変更をし、入浴は楽しいものと思ってくれるよう支援している。	入浴が楽しめるよう、季節が感じられる柚子湯等の工夫が行われています。入浴を拒否される方には時間を変えたり、職員を変えたり等の対応がとられています。利用者の重度化に伴い、リフト浴が行われています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	いつでも休める環境づくりをし、気持ちよく眠れるよう支援している。	いつでも休める環境づくりをし、気持ちよく眠れるよう支援している。		

自己評価および外部評価結果

事業所名

けあビジョンホーム笛吹

自己	外部	項目	事業所名		外部評価	
			ユニット名(1)	ユニット名(2)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の変更時には看護師からの指導も頂き、支援を行っている。	薬の変更時には看護師からの指導も頂き、支援を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食器の片づけ、洗濯物を畳む、歌を唄う、ドライブに出かける等体調などを見ながら支援を行っている。	食器の片づけ、洗濯物を畳む、歌を唄う、ドライブに出かける等体調などを見ながら支援を行っている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍という事でなかなか外出などできなかったが、少しずつ地域の方との交流など行っていきよう支援している。	コロナ禍という事でなかなか外出などできなかったが、少しずつ地域の方との交流など行っていきよう支援している。	事業所周辺の散歩は日常的に実施しています。また、月に一度、ユニットごとに2台の車に乗車してドライブに出かけています。利用者の誕生日に行きたいところに行けるよう、個別の外出の機会を設けたいとの話を伺いました。	利用者の要望に応えるための外出には、マンパワ-の存在が欠かせません。運営推進会議を通して、外出支援を担っていただけるボランティアの活用について検討されることを期待します。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	限られた入居者様に支援して実施しています。	限られた入居者様に支援して実施しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人より依頼があった時、家族から電話が来た時等すみやかに取り次ぎ、年賀状等季節の挨拶状の支援を行っている。	ご本人より依頼があった時、家族から電話が来た時等すみやかに取り次ぎ、年賀状等季節の挨拶状の支援を行っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	冷暖房の設定温度は適温西、華美な装飾などはせず、入居者様が落ち着いて過ごせるよう取り組んでいる。	冷暖房の設定温度は適温西、華美な装飾などはせず、入居者様が落ち着いて過ごせるよう取り組んでいる。	室内の温度や湿度の調整と、照明の光量もその日の環境によって配慮しています。利用者同士の人間関係、その時の言動等に注意を払い、利用者の座る位置や向きが配慮されています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う方同士、ご本人の気に入った場所等を定め、ゆったり楽しく過ごして頂くよう、工夫をしている。	気の合う方同士、ご本人の気に入った場所等を定め、ゆったり楽しく過ごして頂くよう、工夫をしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用されていた家具や寝具を持ち込んで頂き、使いやすく居心地の良い居室づくりをしている。	自宅で使用されていた家具や寝具を持ち込んで頂き、使いやすく居心地の良い居室づくりをしている。	ベッド、クローゼット、エアコン、防災カーテンが予め備えられています。持ち込まれる家具は、ADL(日常生活動作)に影響する場合は事業所側で調整されています。居室の中に植木を置き、水やり等の管理をしている利用者がいます。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリー設計、手すりを付け居室には見やすい名札、共用スペースには大きく表示をトイレ、お風呂などわかり易くしている。	バリアフリー設計、手すりを付け居室には見やすい名札、共用スペースには大きく表示をトイレ、お風呂などわかり易くしている。		